

一者応札・応募等事案フォローアップ票

法人名	独立行政法人日本学術振興会	
案件番号	1	
入札及び契約方式	一般競争入札	
契約金額	12,477,780円	
仕様書配布者数	9者(H27:3者、H26:1者)	
契約の件名及び数量	科学研究費助成事業審査会に係るペーパーレス化システム設計構築運用支援業務	
契約締結日	平成28年12月5日	
契約の相手方の商号又は名称等	富士ゼロックスシステムサービス株式会社	
入札経緯及び結果	平成28年9月28日 入札公告 平成28年10月4日 入札説明会 平成28年10月19日 提案書提出期限 平成28年11月17日 開札	
一者応札・応募等の改善取組内容		
改善項目	状況	具体的な取組内容
①仕様書の見直し等	×	
②業務等準備期間の十分な確保	○	入札を早期に実施することによって応札業者にとって準備期間を可能な限り確保した。(開札から審査会開始まで80日)(H27:70日、H26:60日)
③公告期間の見直し	○	公告日から提案書受領期限まで20日以上を確保している。【継続】
④公告周知方法の改善	○	入札公告を本会HPに掲載するとともに、文部科学省のHP上にリンクを設置している。【継続】
⑤電子入札システムの導入	×	-
⑥業者等からの聴き取り	○	4者にヒアリングを行った。(運用支援のためのシステムのプログラム作成を含め、当初にそのノウハウを構築したものが後年も有利になる等の状況があることを確認した。)
⑦競争参加資格の拡大	○	A・B・C等級に拡大している。【継続】
法人における事後点検の結果講ずることとした措置		
<p>本契約は、科学研究費助成事業審査会に係るペーパーレス化システムを設計構築し、その運用支援を行う業務で、実質3年連続の1者応札となった。</p> <p>今後、同様な調達が見込まれる場合には、調達等合理化検証・検討チームにおいて検証を行った上で、適正な契約方式を検討することとする。</p>		
契約監視委員会のコメント		
<p>前回の委員会でのコメントを踏まえ、業者等からの聴き取りを実施するなどした結果、前年度より多くの業者へ仕様書を配布することができた(3者→9者)ことは評価できる。今後も引き続き他の業者に門戸を広げるよう努めていただきたい。</p> <p>(法人における契約監視委員会のコメントに対して講ずる措置)</p> <p>平成29年度に審査方法の見直しが予定されており、仕様内容そのものの見直しが予定されている。今後、科学研究費助成事業審査会におけるペーパーレス化に関連し新たな仕様の策定に当たっては、予め担当課と調整を図るなど、引き続き多くの業者が競争に参加できるよう配慮する予定である。</p>		
本案件を審議した契約監視委員会の委員		
京藤 倫久、小島 昇、清水 幹裕、西川 恵子、溝口 周二(五十音順)		